

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【自然】収穫の楽しさと達成感を味わう。芋の大きさ、形、重さの違いの気づき 比較したり、数を数えたりする。

<テーマの設定理由> (テーマに関する 子ども の興味関心、園の特色 など)

芋の形や大きさ、重さの違いに関心を持ち、また、土や自然とのふれあいで五感を育むため

2. 探究活動の実践

		対象クラス・対象人数							
	実施日	0歳児 クラス (人)	1歳児 クラス (人)	2歳児 クラス (人)	3歳児 クラス (人)	4歳児 クラス (人)	5歳児 クラス (人)	地域 子ども (人)	地域 大人 (人)
①	10月24日					17	17		
②									
③									
④									
⑤									

活動内容
近隣の農家さんの畑に行き、さつまいも掘りを行う。4,5歳クラスで向い、異年齢児同士で手を繋ぐ。一人一株掘り進めた行く。 10月の初めからカレンダーを通して子どもたちに伝えていたので楽しみにしていた。農園に着くと葉っぱはすでに取り除かれていたので、子どもたちは「何処にあるの?」という表情をしていた。最初は土の上部だけを掘すすめていたが、手で土をかき分けるように伝えると紫色のお芋が見えて、「さつま芋出てきた」と保育士に知らせ、すぐに抜こうとする。びくともしないお芋を前にして、保育士に助けを求めてきた。周りを掘り進めること伝え、抜けるを大喜びの姿がみられた。

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等を記載ください。
(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、教諭との関わり等)

活動におけるチェックリスト	
グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促す。	○
活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録する。	○
乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行う。	○
記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返る。	○
幼稚園・保育所等の各施設の教諭数値・保育者所同士や保護者等に、探究活動の内容を共有する。	
次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考える。	○

活動の様子が分かる写真 2 枚 以上 を貼付 してください。

(HP など で 公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



4 歳児芋ほりの様子

5 歳児芋ほりの様子



3. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>
園で野菜を育てて、ハサミや手で収穫することは行っていたが、掘って収穫するは経験はなかった。どのように掘ってよいかわからずに、戸惑う表情が見られた。 さつまいもの育ちについて写真で見せると、イメージが湧きやすいと感じた。 異年齢児で行うことで、芋を見せ合う姿や、互いに掘った数を確認しあうなどの関りが見られた。 自分で掘るのが難しく困っていた時には、友だちが手伝う姿が自然と見られたことで、幼児クラスでは、保育士が介入するだけでなく、友だち同士で解決しようとする姿につながることに気づいた。。

4. 今月の購入実績

注文日	項目	費用（税込）	購入方法
10月15日	8切再生画用紙 ゆき	1,640	桃源堂
10月24日	さつま芋代金	20,000	現金払い
		21,640	

記入日：	2025/10/29
記入者：	原田 多鶴子